【参考資料】　平成20年度　実績報告（郡上森林組合）

作成日：平成21年4月30日

施業集約化	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	44.94ha	60ha	133.5%	H21予定：66.78ha	人工林：長期受委託レベル及び施業同意レベル
いつ	4月～3月	4月～3月		通年対応	
誰が	集約化担当：熊崎	集約化担当：熊崎		集約化担当を1名拡充予定	
どういう方法で	個別訪問（10軒）	個別訪問（15軒）		施業提案書を積極活用した集約化 地域研修会を積極的に開催して施業地を集約化	

間伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	利用：35.89ha	利用：31.25ha	87.1%	H21予定：40ha	
	切捨：6.00ha	切捨：21.35ha	355.8%	H21予定：9ha	
いつ	9月～3月	4月～3月		梅雨、降雪期間を含めて、出来る限り通年して素材生産	
誰が	素材生産担当：熊崎	素材生産担当：熊崎		素材生産担当：熊崎	新規1チーム設置(21年4月)
どういう方法で	既設道を起点に列状間伐	既設道を起点に列状間伐		素材生産コストの低減を図り森林所有者への還元を増やすため列状間伐を基本とする。（収入間伐2回終了まで）	既設道路周辺に加え新規開設した作業路周辺で素材生産

作業道（路）開設	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	W=3.6m,L=190m	W=3.6m,L=190m	100.0%	H21予定：4,685m（造林作業路）	開設費　W=3.6m　6,000円／m
いつ	7～12月	11月		通年（梅雨、降雪時を除く）開設	
誰が	郡上森林組合	郡上森林組合		設計・管理：森林組合　施工のみ外注	
どういう方法で	設計・施工・管理：森林組合直営	設計・施工・管理：森林組合直営		林内路網密度を高めて、効率的な素材生産をするため、H22年までに作業道の開設を完了する。	

素材生産	機械のみ更新（H19）	内容		
新規構築作業システム（機械の組合せ、種類・規格・台数）		伐倒：チェンソー　→　集材：スイングヤーダ(0.45)　→　造材：プロセッサ(0.45)　→　運搬：フォワーダ(6t)　→　積込：グラップル(0.45)　→　トラック(10t)		
素材生産チーム数（チーム員数）	実施前　→　実施後	1チーム（3人/班）（旧機械による明宝班の実績）	→	1チーム（3人/班）
実稼働日数（日）	（H19）　（H20）	180（　〃　）		71日
素材生産コスト（㎥／人・日）		7.3（　〃　）		13.4
その他				

年間素材生産量	計画	実績	達成率	備考	今後の対応
モデル団地内	4,486	3,065	68.3%	森プロ関係のみ （新規導入機械による素材生産）	次年度以降は、出来る限り森プロ団地内にて施業集中予定（班の増班及び民間業者へ外注）
モデル団地外					
合計	4,486	3,065	68.3%		

上記のほか、プロジェクト推進のために講じる具体的取り組み

計画	実績	達成度検証方法	今後の対応
森林施業プランナーの育成（1名）	森林施業プランナー（1名）	施業見積により集約化した面積	森林施業プランナーの育成研修出席（1名） 施業提案書の活用方法について検討
郡上市森林づくり推進会議	森プロ計画の報告（1回）	市町村森林管理委員会へ報告（年1回）	関係者との検討会を定期的（年1回）に開催
急峻な山腹の人工林は、帯状間伐等により、自然に近い環境林へシフトする	4．58ha実施（強度な間伐）間伐率50%	H23年に市町村森林管理委員（19人）に対するアンケート調査により環境林にシフトできたか判断して頂く。	H22に計画あり（強度な間伐） 間伐率50%
「里山の整備」区域は育成天然林整備等により環境林にシフトする	H20実績なし	〃	H23年度に施業する（育成天然林整備）
森林組合HP及び広報誌によるPR	HPは1月に1回、広報誌（森林組合だより）は20年8月・21年1月掲載	HP、広報誌に掲載された回数（年1回）	HP、広報誌（森林組合だより、年2回）に掲載する
未整備林に対する施業	保育間伐　21．35haの実施	保育間伐できた面積（ha）	H21～23年施業（保育間伐）
	道づくりマニュアル作成のためのデータ収集・蓄積	道づくりマニュアルの完成	H23年にマニュアル作成
市役所、農林事務所と連携した普及啓発の推進	「森林ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ」PR用ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄの作成・組合員及び視察者に対するPR（4回）	組合員及び視察者にPRした回数	組合員に対する視察見学会（年1回）
鳥獣害対策対策	H20実績なし	H23年に市町村森林管理委員（19人）に対するアンケート調査により鳥獣対策に効果があったか判断して頂	H23年度に施業する（鳥獣害対策）
郡上市森林づくり推進会議による現地検証	利用間伐のデータ集収	施業マニュアルの完成	H23年に施業マニュアル作成
推進会議によるアンケート調査の実施	H20実績なし	H23年に市町村森林管理委員（19人）に対するアンケート調査により環境林にシフトできたか判断して頂く。	H23年度に実施する
環境への影響を把握するため河川の濁度調査	10月17・18日熊崎が日向橋で目視	濁度調査手法等について森林研究所の指導を仰ぎ、それに基づいた調査を実施し、環境への影響を把握に努める。	調査結果等を森林つくり推進会議、組合理事会等で報告するなど、環境に配慮した施業のPRに活用する。
間伐施業後の林内巡回	11月18日に熊崎が施業地巡回	植生回復状況の調査手法等について森林研究所の指導を仰ぎ、それに基づいた調査を実施し、状況把握に努める。	調査結果等を森林つくり推進会議、組合理事会等で報告するなど、施業効果のPRに活用する。